

実務経験のある教員による授業科目一覧表

〔部門：北里大学保健衛生専門学院 医療専門課程 臨床検査技師養成科〕

科目名	実務経験の授業への活用方法	科目責任者	科目担当者 (※は実務経験有)	開講 学年	通年 前期 後期	単位数	時間数	必修・ 選択等	科目 区分
1 生物学	病院での臨床経験を踏まえ、生体の基本構造や仕組みについて概説する。	小菅 優子	小菅 優子 ※	1	前期	1 単位	30 時間	必修	講義
2 病理学	病院での臨床経験を踏まえ、疾患の成り立ち、形態的变化について概説する。	小菅 優子	小菅 優子 ※	1	後期	1 単位	30 時間	必修	講義
3 感染生体防御学	病院での臨床経験を踏まえ、病原体の基礎知識と生体防御反応について概説する。	金子 博司	金子 博司 ※	1	後期	1 単位	30 時間	必修	講義
4 医学検査学演習	病院での臨床経験を踏まえ、検体検査並びに生理検査の基本的な検査について概説する。	金子 博司	金子 博司 ※ 小菅 優子 ※ 五十嵐康之 ※ 笹岡 悠一 ※ 大西 秀典 ※	1	前期	1 単位	30 時間	必修	演習
5 医療関係法規概論	病院での臨床経験や災害医療の経験を踏まえ、臨床検査技師に必要な法律について概説する。	大西 秀典	大西 秀典 ※	3	前期	1 単位	15 時間	必修	講義
6 公衆衛生学Ⅰ	病院での臨床経験や災害医療の経験を踏まえ、公衆衛生の意義及び臨床検査技師の公衆衛生への関わりを概説する。	大西 秀典	大西 秀典 ※	1	前期	1 単位	30 時間	必修	講義
7 公衆衛生学Ⅱ	病院での臨床経験や災害医療の経験を踏まえ、公衆衛生の意義及び臨床検査技師の公衆衛生への関わりを概説する。	大西 秀典	大西 秀典 ※	1	後期	1 単位	30 時間	必修	講義
8 病態解析学	病院での臨床経験を踏まえ、疾患の成り立ち、形態的变化について概説する。	富永 一郎	富永 一郎 小林 浩二 ※ 五十嵐康之 ※ 小丸 圭一 ※ 笹岡 悠一 ※ 金子 博司 ※ 竹内 法子 ※ 小菅 優子 ※	3	前期	1 単位	30 時間	必修	講義
9 血液検査学Ⅰ	受託臨床検査施設及び病院での臨床経験を踏まえ、血液細胞の産生過程や臨床現場で必要不可欠な細胞鑑別のための形態的特徴や機能について概説する。	五十嵐康之	五十嵐康之 ※	2	前期	1 単位	30 時間	必修	講義
10 血液検査学Ⅱ	受託臨床検査施設及び病院での臨床経験を踏まえ、血液疾患の発症メカニズムから最新の臨床知見と検査技術を関連付けて概説する。	五十嵐康之	五十嵐康之 ※	2	後期	1 単位	30 時間	必修	講義
11 血液検査学実習	受託臨床検査施設及び病院での臨床経験を踏まえ、血球数算定法から血液像・骨髓像の判読法、自動分析機を用いたデータ解析技術を概説する。	五十嵐康之	五十嵐康之 ※ 小菅 優子 ※	2	前期	1 単位	45 時間	必修	実習
12 病理細胞検査学Ⅰ	病院での臨床経験を踏まえ、病理学的検査方法の標本作成方法、染色の方法について概説する。	小菅 優子	小菅 優子 ※	2	前期	1 単位	30 時間	必修	講義

実務経験のある教員による授業科目一覧表

〔部門：北里大学保健衛生専門学院 医療専門課程 臨床検査技師養成科〕

科目名	実務経験の授業への活用方法	科目責任者	科目担当者 (※は実務経験有)	開講 学年	通年 前期 後期	単位数	時間数	必修・ 選択等	科目 区分
13 病理細胞検査学Ⅱ	病院での臨床経験を踏まえ、病理学的検査方法の標本作成方法、染色の方法について概説する。	小菅 優子	小菅 優子 ※ 吉田 玲子 ※	2	後期	1 単位	30 時間	必修	講義
14 病理細胞検査学実習	病院での臨床経験を踏まえ、病理学的検査方法の標本作成方法、染色の方法について実技を概説する。	小菅 優子	小菅 優子 ※ 竹内 法子 ※ 加藤 法男 ※	2	後期	1 単位	45 時間	必修	実習
15 形態検査学特論	病院での臨床経験を踏まえ、疾患や組織学的変化について概説する。	小菅 優子	小菅 優子 ※ 五十嵐康之 ※	3	後期	2 単位	60 時間	必修	講義
16 凝固止血検査学	受託臨床検査施設及び病院での臨床経験を踏まえ、凝固止血のメカニズムと凝固疾患の成り立ちや経過について、臨床データと関連付けながら概説する。	五十嵐康之	五十嵐康之 ※	2	後期	1 単位	30 時間	必修	講義
17 凝固止血検査学実習	受託臨床検査施設及び病院での臨床経験を踏まえ、凝固検査の臨床的意義と自動分析機を用いた測定原理とデータ解析技術を概説する。	五十嵐康之	五十嵐康之 ※	2	後期	1 単位	45 時間	必修	実習
18 生物化学分析検査学特論	受託臨床検査施設及び病院での臨床経験を踏まえ、生物化学分析検査について概説する。	小丸 圭一	五十嵐康之 ※	3	後期	2 単位	60 時間	必修	講義
19 輸血・移植免疫学	病院での臨床経験を踏まえ、輸血や移植の知識について概説する。	笹岡 悠一	笹岡 悠一 ※	2	前期	1 単位	30 時間	必修	講義
20 輸血・移植免疫学実習	病院での臨床経験を踏まえ、輸血や移植の知識・技術について概説する。	笹岡 悠一	笹岡 悠一 ※	2	前期	1 単位	45 時間	必修	実習
21 臨床微生物学Ⅰ	病院での臨床経験を踏まえ、微生物検査の対象と意義及び各種病原体の特徴について概説する。	金子 博司	金子 博司 ※	2	前期	1 単位	30 時間	必修	講義
22 臨床微生物学Ⅱ	病院での臨床経験を踏まえ、微生物検査の対象と意義及び各種病原体の特徴について概説する。	金子 博司	金子 博司 ※	2	後期	1 単位	30 時間	必修	講義
23 臨床微生物学実習	病院での臨床経験を踏まえ、微生物検査の対象と意義及び実際の検査手技について概説する。	金子 博司	金子 博司 ※ 小林 浩二	2	通年	2 単位	90 時間	必修	実習
24 病因生体防御検査学特論	病院での臨床経験を踏まえ、病原体の基礎知識と生体防御反応、微生物検査の対象と意義及び各種病原体の特徴について概説する。	金子 博司	金子 博司 ※	3	後期	2 単位	60 時間	必修	講義
25 生理機能検査学Ⅰ	病院での臨床経験を踏まえ、循環器系検査（心電図、心音図等）の意義及び実際に臨床検査技師がどのように検査を行うかを概説する。	笹岡 悠一	笹岡 悠一 ※ 大西 秀典 ※	1	前期	1 単位	30 時間	必修	講義

実務経験のある教員による授業科目一覧表

〔部門：北里大学保健衛生専門学院 医療専門課程 臨床検査技師養成科〕

科目名	実務経験の授業への活用方法	科目責任者	科目担当者 (※は実務経験有)	開講 学年	通年 前期 後期	単位数	時間数	必修・ 選択等	科目 区分
26 生理機能検査学Ⅱ	病院での臨床経験を踏まえ、循環器系検査（心電図、心音図等）の意義及び実際に臨床検査技師がどのように検査を行うかを概説する。	笹岡 悠一	笹岡 悠一 ※	1	後期	1 単位	30 時間	必修	講義
27 生理機能検査学Ⅲ	病院での臨床経験を踏まえ、呼吸機能検査、平衡機能検査、聴覚検査および味覚検査における知識を概説する。	笹岡 悠一	笹岡 悠一 ※ 外山 竹弥 竹内 法子	1	後期	1 単位	30 時間	必修	講義
28 生理機能検査学実習Ⅰ	病院での臨床経験や災害医療の経験を踏まえ、心電図検査、脳波検査および筋電図検査における知識と技術を概説する。	笹岡 悠一	笹岡 悠一 ※ 大西 秀典 ※ 富永 一郎	2	前期	1 単位	45 時間	必修	実習
29 生理機能検査学実習Ⅱ	病院での臨床経験や災害医療の経験を踏まえ、呼吸機能検査、平衡機能検査、聴覚検査および味覚検査における知識と技術を概説する。	笹岡 悠一	笹岡 悠一 ※ 大西 秀典 ※ 五十嵐康之 ※ 竹内 法子 富永 一郎	2	前期	1 単位	45 時間	必修	実習
30 画像検査学	病院での臨床経験や災害医療の経験を踏まえ、循環器系検査（心電図、心音図等）の意義及び実際に臨床検査技師がどのように検査を行うかを概説する。	大西 秀典	大西 秀典 ※ 笹岡 悠一 ※ 大竹 知弘 ※	2	前期	1 単位	30 時間	必修	講義
31 画像検査学実習	病院での臨床経験や災害医療の経験を踏まえ、循環器系検査（心電図、心音図等）の意義及び実際に臨床検査技師がどのように検査を行うかを概説する。	大西 秀典	大西 秀典 ※ 笹岡 悠一 ※ 五十嵐康之 ※	2	前期	1 単位	45 時間	必修	実習
32 生理機能検査学特論	病院での臨床経験の経験を踏まえ、生理機能検査における知識を概説する。	笹岡 悠一	笹岡 悠一 ※ 大西 秀典 ※ 竹内 法子	3	後期	2 単位	60 時間	必修	講義
33 検査機器学	病院での臨床経験を踏まえ、基本的な検査機器から各種分析装置の概略について概説する。	金子 博司	金子 博司 ※	1	前期	1 単位	30 時間	必修	講義
34 メンタルヘルス演習	病院での臨床経験や災害医療の経験を踏まえ、他の医療従事者や患者をつなぐコミュニケーションの重要性を伝える。	大西 秀典	大西 秀典 ※ アナボヌ岡本実砂子 桑原 哲也	1	通年	1 単位	30 時間	必修	演習
35 チーム医療論	病院での臨床経験を踏まえ、臨床におけるチーム医療について概説する。	金子 博司	金子 博司 ※ その他	1	前期	1 単位	30 時間	必修	講義
36 チーム医療演習	病院での臨床経験を踏まえ、チーム医療に携わる臨床検査技師について概説する。	金子 博司	金子 博司 ※	3	前期	1 単位	30 時間	必修	演習
37 検査総合管理学特論	病院での臨床経験を踏まえ、リスクマネジメント、感染対策、各種検体採取法について概説する。	金子 博司	金子 博司 ※ 小林 浩二 ※ 金子 博司 ※ 外山 竹弥 ※ 大西 秀典 ※	3	後期	2 単位	60 時間	必修	講義
38 医療安全管理学	病院での臨床経験を踏まえ、リスクマネジメント、感染対策、各種検体採取法について概説する。	金子 博司	金子 博司 ※	2	後期	1 単位	30 時間	必修	講義

実務経験のある教員による授業科目一覧表

〔部門：北里大学保健衛生専門学院 医療専門課程 臨床検査技師養成科〕

科目名	実務経験の授業への活用方法	科目責任者	科目担当者 (※は実務経験有)	開講 学年	通年 前期 後期	単位数	時間数	必修・ 選択等	科目 区分
39 臨地実習	病院での臨床経験を踏まえ、臨地実習における知識と技術の習得について概説する。	金子 博司	金子 博司 ※ 実習先病院の指導者 (臨床検査技師免許保持者)	3	前期	7 単位	315 時間	必修	実習
合計						51 単位	1,755 時間		

行は適宜追加してください。
シラバスの関連項目と記載を一致させてください。